

履修要項・シラバス

2021

 札幌保健医療大学
保健医療学部 栄養学科

目 次

I 履修要項

I-1	本学の教育理念	2
I-2	本学の教育目的	2
I-3	栄養学科の教育目的	2
I-4	本学の教育目標	3
I-5	栄養学科の教育目標	3
I-6	札幌保健医療大学の三方針	
1)	ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	4
2)	栄養学科カリキュラム・ポリシー（教育課程の基本方針）	5
3)	アドミッション・ポリシー（入学者の受入れ方針）	6
I-7	履修について	
1)	学期	7
2)	修業年限・在学年限	7
3)	単位制・学年制	7
4)	授業科目	7
5)	科目の履修および登録	8
I-8	授業について	
1)	授業時間	9
2)	休講・補講・集中講義	9
3)	欠席の取扱い	10
4)	天候による非常事態への対応	11
5)	授業評価アンケート	11
I-9	試験について	
1)	試験の種類・手続き	12
2)	受験資格	13
3)	試験の方法	13
4)	試験時間	13
5)	受験心得	13
6)	不正行為	14
I-10	単位・成績について	
1)	単位について	14
2)	単位修得に関する事項	15
3)	成績通知	16

II 栄養学科

II-1 栄養学科の臨地実習（先修条件）	
1) 実習の先修条件	18
2) 臨地実習における追実習と再実習について	19
II-2 栄養学科の卒業要件・進級要件	
1) 卒業要件	20
2) 進級要件	20
II-3 栄養学科の資格の取得	
1) 栄養士免許	21
2) 管理栄養士国家試験受験資格	21
3) 栄養教諭一種免許状	22
4) 食品衛生管理者・食品衛生監視員（任用資格）	24
II-4 教育目標とディプロマ・ポリシー	26
II-5 教育課程表（卒業までに必要な授業科目と単位数の一覧）	28
II-6 科目配置表	32
II-7 栄養学科 履修モデル（全コース一覧）	34
II-8 栄養学科コース別履修モデル	36
II-9 オフィスアワー	42
II-10 2021年度学事暦	44

III シラバス

授業科目名と担当者一覧	46
1年次	49
2年次	131
3年次	199
4年次	249
教職課程	273

IV 規程（学則・教務に関する諸規程）

札幌保健医療大学学則	302
札幌保健医療大学保健医療学部履修規程	315
札幌保健医療大学保健医療学部履修に関する細則	324
札幌保健医療大学教職課程履修規定	329
札幌保健医療大学試験規程	334
札幌保健医療大学における成績評価の異議申し立てに関する規程	336
札幌保健医療大学既修得単位認定規程	340

I 履修要項

I-1 本学の教育理念

本学は、吉田学園の建学の精神に込められた「豊かな人間性」と「職業人としての基礎能力」をもつ人財を育成する伝統を継承しています。

本学は、学生一人ひとりの人間力として、「豊かな感性」「高潔な精神」「確かな知力」を養い、これらの人間的調和と自己成長をはかるとともに、「他者と共存」できる医療人を育成します。

この教育理念の実現によって、社会から必要とされる人財を地域に輩出することで、保健医療福祉の充実・向上に貢献します。

◆本学の教育がめざす、人間力とは、

- ・豊かな感性：人の心に寄り添い、他者との思いや苦悩を汲み取る力
- ・高潔な精神：真・善を追求し、公共の使命と責任を全うする意志力
- ・確かな知力：人間的な判断と行動の知的拠り所となる力
- ・他者との共存：多様な文化や社会、個性ある互いを認め合い、他者と共に生きる力

I-2 本学の教育目的

本学の教育理念である「人間力教育」を根幹に、「豊かな感性」、「高潔な精神」、「確かな知力」を培い、「他者との共存」ができる人間力を有し、多様化する保健医療の進展と地域のニーズに対応できる実践力を備えるとともに、将来にわたり保健医療の専門性を追求し続ける保健医療専門職者を育成する。

I-3 栄養学科の教育目的

栄養学科では、本学の教育目的に則り、社会人としての人間力を涵養するとともに、栄養学とこれに関連する保健医療福祉の幅広い知識・技術を体系的に理解し、栄養の管理・指導を实践できる能力、多職種と連携し協働できる能力、さらに将来にわたり成長し続ける基礎的な能力を有する栄養専門職者を育成する。

I-4 本学の教育目標

- (1) 人間力を涵養し、社会の一員としての社会的態度と行動をとることができる人材を育成する。
- (2) 生命への畏敬の念を抱き、人間の尊厳と多様な価値観を尊重できる人材を育成する。
- (3) 人間と環境と健康の相互作用を理解し、健康を社会的視点から捉えることができる人材を育成する。
- (4) 保健医療の専門職として求められる知識・技術・態度を有し、実践力のある人材を育成する。
- (5) 社会生活や保健医療福祉で関わる人々との連携および協働できる人材を育成する。
- (6) 保健医療福祉の諸課題への探求心を持ち、将来にわたり学修し、成長し続ける人材を育成する。

I-5 栄養学科の教育目標

- (1 - 1) 自己の良心と社会規範に従い、自己を抑制し、責任ある行動のできる栄養専門職者を育成する。
- (1 - 2) 目的に適った情報の収集と論理的な思考・判断を行い、適切に表現できる栄養専門職者を育成する。
- (2) 自然と共生するすべての生命を尊び、人間の尊厳を守り、人々の多様な価値観を尊重できる栄養専門職者を育成する。
- (3) 人間・環境・健康を体系的に理解し、健康生活に関わる栄養と食について、社会的視点から多角的に捉えることのできる栄養専門職者を育成する。
- (4 - 1) 栄養管理の対象となる個人・家族・集団の特性を理解し、人々の健康生活に適した栄養ケアをマネジメントできる栄養専門職者を育成する。
- (4 - 2) 地域社会の栄養と食生活に関する健康課題を評価・判定し、課題解決に向けた効果的な栄養と食に関する生活支援を実践できる栄養専門職者を育成する。
- (5) 社会と保健医療福祉分野での管理栄養士の役割と責務を認識し、多職種および関係者と連携・協働できる栄養専門職者を育成する。
- (6) 保健医療福祉の動向を捉え、管理栄養士としての専門性を探求し、将来にわたり能力向上のために自己研鑽し続ける栄養専門職者を育成する。

I-6 札幌保健医療大学の三方針

1) ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本学において卒業時に修得できる学位の名称は、次のとおりです。

学科	学位
看護学科	学士（看護学）
栄養学科	学士（栄養学）

本学の保健医療学部看護学科・栄養学科は、教育理念・目的をふまえ、学部教育目的の「人間と自然、多様な文化や社会に関する知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」「専門分野の基礎知識・技術・態度」「多職種との連携協働力」「生涯学習力」の6つの資質・能力のもと、下記の到達目標に応じた看護師、管理栄養士の専門職業人としての人間的基盤の形成および、各専門的能力を修得するとともに各国家試験受験資格の要件となる単位を含む126単位以上の修得を求めます。これらの方針を満たした者は、看護学科においては学士（看護学）、栄養学科においては学士（栄養学）の学位を授与します。

【栄養学科】

- (1) 社会の一員として社会規範を守り、自己統制力および責任ある行動力を身につけている。
- (2) 情報収集力・論理的思考力・多様な表現力を総合的に身につけている。
- (3) 生命への畏敬の念と人間の尊厳を守るための倫理的態度を有している。
- (4) 社会や環境の人間への影響、および健康との相互関係について基礎的な知識を有し、人間の生活の機構、環境の変化に対する機構、ならびに疾患の成因から治療、保健医療福祉体制について基礎的な知識を有している。
- (5) 栄養学、食品学の基礎的な知識・技術を有し、あらゆる健康レベルおよび全てのライフステージにある人々を対象に、栄養と食生活に関する課題を評価・判定し、適切な栄養・食事管理を総合的にマネジメントする基礎的な能力を有している。
- (6) 地域社会や職域等における健康・栄養問題とその要因を総合的に評価および判定し、効果的な教育や支援活動を実践できる基礎的な能力を有している。
- (7) 望ましい栄養状態、食生活の改善・管理を目的に、関連職種と連携・協働する基礎的な能力を有している。
- (8) 生涯にわたって自ら専門知識や技術の向上をめざして、自己研鑽する能力を有している。

2) 栄養学科カリキュラム・ポリシー（教育課程の基本方針）

栄養学科では、社会人としてまた管理栄養士として必要な知識・技術・態度および専門的実践力を修得し、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力を身につけるために、次のような教育内容・教育方法・評価方法によってカリキュラムを編成し実施しています。

＜教育内容＞

(1) 教育課程（カリキュラム）を「基礎教育」と「専門教育」で編成しています。

基礎教育では、栄養学科・看護学科の共通および合同科目を通して、「人間」と「環境（自然・社会・文化）」について広く学び、社会人としての基盤を形成します。

専門教育には、「専門基礎科目」と「専門科目」があり、管理栄養士の専門分野において基礎となる知識・技術・態度および専門的実践力の基礎とその応用力を育成します。

(2) 学修の過程は、教育内容の専門性の深化を考え、「基礎教育科目」から「専門基礎科目」、「専門科目」へと、学びやすい設定にしています。

学年進行に合わせて学修の積み上げができるように、基礎教育科目は原則1～2年次に、専門基礎科目は主として2年次までに、専門科目は1～4年次に設定しています。また、基礎教育の選択科目は全学年を通じて履修でき、学生の個別性を考慮した学修を可能にします。

(3) 大学での学修を支援するために本学独自の科目を配置し、主体的な学修と学業継続に必要なスキルを育成します。

本学独自に看護学科との合同科目「学びの理解」を配置し、本学の教育理念を学び、大学生活に早期に適応でき、大学での主体的学修と学業継続の基礎となるソーシャル・スキルおよびアカデミック・スキルを育成します。

(4) 保健医療福祉に関する社会活動への参画や協働体験をする科目を通じて、学生の主体性、社会性と責任感を育てます。

保健医療福祉に関する活動で体験した多様な学びを単位として認定する選択科目「特別総合科目」を配置し、管理栄養士を目指す学生が、自ら考え行動し、社会活動に参画、協働する意欲、社会性、責任ある行動力を身につけ、専門科目を履修する際の基盤をつくることができます。

(5) 地域の保健医療福祉への理解を深める科目を配置し、地域に暮らす生活者の理解と健康生活を支援する関係職種の連携・協働力を育成します。

管理栄養士に必要な保健医療福祉の基礎科目や専門科目と並行しながら、1～4年次に統合科目「地域連携ケア論Ⅰ～Ⅳ」を配置しています。各学年の学修進度に合わせ、地域の生活と健康との関連、地域の健康課題と社会資源、保健医療福祉チームに係る他職種の理解と連携方法、事例からの学びを通して管理栄養士の専門性や役割理解を深めます。

(6) 学生が自ら選択して学修内容を深め、進路選択の一助となるよう、履修モデルとして「食育実践」、「スポーツ栄養」、「臨床栄養」の各コースを配置しています。

「食育実践コース」：子どもから大人まで幅広い世代を対象とした健康増進のための栄養教育に関わる選択科目で構成しています。

「スポーツ栄養コース」：アスリートや健康運動実践者などを対象とした栄養サポートを行うためのスポーツ栄養に関わる選択科目で構成しています。

「臨床栄養コース」：傷病者を対象としたチーム医療を含む栄養ケアを行うための臨床栄養学に関わる選択科目で構成しています。

<教育方法>

- (1) 各科目の特性によって、講義、演習、実験、実習の授業形態を適切に取り入れ、学修効果の向上を図る教育を展開します。また、一部の科目で習熟度別クラスを設定しています。
- (2) 演習・実験・実習科目において、1年次からさまざまなアクティブ・ラーニング手法を導入し、社会性や協調性、主体性、論理的思考を培い、コミュニケーション力の向上を図ります。
- (3) 専門教育の知識基盤となる初年次の理系科目では、基礎学力の向上を促進するため、入学前のプレ学習、入学直後の補習を行います。
- (4) 1～4年次を通して、学年担任を中心に適宜面談を行いながら、ポートフォリオの活用や継続的な学修指導を行い、学修の振り返りと課題の明確化を促し、学びの向上を支援します。

<評価方法>

- (1) シラバスに記載されている各科目の明確な評価方法と基準に基づいて到達度を厳格に評価します。
- (2) 各科目とディプロマ・ポリシーとの関連を可視化し、学修成果の到達度を評価します。
- (3) 各年次終了時に、学則に定める進級制度により進級の可否を判断します。
- (4) GPA（グレード・ポイントの設定）制度を導入し、学修状況の評価・判定を行います。
- (5) 学期ごとに授業評価アンケートを実施し、授業の評価とともに授業に対する学生の取り組み姿勢についての自己評価を行います。

3) アドミッション・ポリシー（入学者の受入れ方針）

本学は、保健医療（看護学、栄養学）の分野における学修と実践活動への意欲ならびに、それらを実現できる適性と能力を備え、特に本学への入学を希望する人を求めます。

- (1) 確かな学力
基礎的な知識をもち、学習意欲が旺盛で、積極的に課題解決に取り組む人。
- (2) 保健医療への関心
人々の健康と生活を支える保健医療への興味・関心をもっている人。
- (3) 豊かな社会性
社会の一員として責任をもち、相手の立場になって考え、様々な人と協力し合いながら行動できる人。
- (4) 強い向上心
保健医療に携わる専門職業人を通して社会の役に立ちたいという意欲をもち、生涯にわたり自己の向上に努力する人。

I-7 履修について

1) 学期

学年を分けて、次の2学期とします。

前期	後期
4月1日～9月30日	10月1日～3月31日

2) 修業年限・在学年限

- 修業年限：4年（学則第14条）
卒業に必要な単位数を修得しても4年以上在学しなければ卒業できません。
- 在学年限：8年（学則第15条）
8年を超えて在学することができません。8年で卒業できない場合は、除籍となります。
- 休学期間：1年（学則第34条）
ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができます。通算して4年を超えることができません。

3) 単位制・学年制

単位制の入学生 (看護学科のみ)	2015年度（平成27年度）以前入学生
学年制の入学生	2016年度（平成28年度）以降入学生

4) 授業科目

授業科目は、基礎教育科目、専門基礎科目、専門科目および教職に関する科目になります。また、所定の単位数と授業回数が定められており、以下のとおり区分されています。

- 必修科目：
卒業までに単位を修得しなければならない科目です。
- 選択科目：
卒業までに定められた各区分の必要単位数以上を修得しなければならない科目です。
- 選択必修科目：（栄養学科のみ）
選択必修科目として指定された科目の中から、必要単位数を修得しなければならない科目です。

5) 科目の履修および登録

●履修登録について

- (1) 履修をする科目は、履修登録をしなければなりません。各年次4月の履修登録期間内に1年分を本人が登録します。
- (2) 期間内に履修登録しなかった場合の履修は認められません。
- (3) 各学期の履修訂正期間に履修科目の変更(追加・取消)を行うことができます。
- (4) 在学する学年より上位学年に配当されている科目を履修登録することはできません。
- (5) 休学中または学費未納の学生は、履修登録および受講、試験の受験はできません。
- (6) 同一曜日で同一時限に2科目以上を重複して履修登録をすることはできません。
- (7) 前年度までに履修し、単位を修得した科目を再度履修登録することはできません。
- (8) 1年間で履修登録可能な単位数には、上限があります(CAP制)。
- (9) 当該年度に単位を修得できず、翌年度以降に再度履修することを再履修といいます。

●CAP制について

大学で学修する講義・演習・実習・実験などの各授業科目には単位数が定められており、単位を修得するためには、大学における授業に加えて予習・復習からなる自己学習が必要です(p.14を参照)。

本学では、学修すべき授業科目を精選して十分な学修時間を確保し、授業内容を深く修得できることを目的にCAP制を導入しています。CAP制とは、各学年が履修できる一年間の総単位数に上限を設定することで、各学科のディプロマ・ポリシーを達成するための学修を計画的に進められるよう適切に授業科目を履修できることを目的とした制度です。1年間の履修科目登録単位の上限は、学科により異なります。また、4月に履修相談会を実施します。

なお、再履修科目はCAP制の対象外となります。

項目	栄養学科
履修科目登録単位の上限 (1年間)	48 単位
CAP制対象外の科目	・ 栄養教諭一種免許取得に必要な科目 ・ 再履修科目
卒業要件単位に含まれない科目	・ 栄養教諭一種免許取得に必要な科目

※編入生、転学科した学生は、「CAP制」の対象外になります。

I-8 授業について

1) 授業時間

授業時間は、1時限90分を原則としています。

時 限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
授業時間	9:30~11:00	11:10~12:40	13:30~15:00	15:10~16:40	16:50~18:20

2) 休講・補講・集中講義

休講、補講、講義変更等の連絡は、掲示板でお知らせします。

休 講	担当教員等の都合により予定されていた授業が行われないことを「休講」といいます。
補 講	休講等により授業時間が不足した場合、授業回数を補うために「補講」が行われます。
授業振替	授業時間数確保のために、例えば月曜日の時間割が平日の他の曜日に行われる場合があります。これを「授業振替」といいます。
集中講義	科目によっては、通常的时间割以外のある一定期間（長期休業日等）に集中して授業を行います。これを「集中講義」といいます。

3) 欠席の取扱い

- (1) 欠席により、授業への出席回数不足が生じると、失格となります。
- (2) 授業を欠席した場合は、欠席日を含めた原則 5 日以内に授業欠席届を学務課に提出してください。
- (3) 遅刻、早退などにより授業を 60 分以上受講しない場合は、欠席として取り扱います。
- (4) 下記の欠席事由に該当し、かつ必要な手続きを行った場合は、「大学が認める特段の理由」による欠席として扱われ、補講等の配慮を受けることができます。その際は、理由を明確にする証明書類を授業欠席届に添付のうえ、欠席日を含めた原則 5 日以内に学務課に提出してください。
- (5) 試験を欠席した場合は、p. 12 を確認してください。
- (6) 実習を欠席した場合は、p. 19 を確認してください。
- (7) その他、疾病等のやむを得ない事由で長期欠席（連続 7 日以上欠席）する場合は、長期欠席届を学務課へ提出してください。
- (8) 「大学が認める特段の理由」以外の授業の欠席については、特段の指示がない限り病院等の診断書は不要です。

大学が認める特段の理由による欠席の適用範囲

欠席事由	許可日数		必要添付書類等
災害、公共交通機関の障害	当該日のみ		<ul style="list-style-type: none"> ・被災（罹災）証明書 ・事故証明書 ・遅延証明書
忌引き	配偶者	7 日以内	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の死亡欄又は葬儀礼状等 ・保護者による証明書（要押印）
	一親等 父母、子	7 日以内	
	二親等 祖父母、兄弟姉妹	3 日以内	
インフルエンザ等の感染症による出席停止 (学生便覧参照)	医師の診断書により、出席停止を必要とされた期間に限る		<ul style="list-style-type: none"> ・医師の診断書 ※病名、受診日および出席停止期間（自宅療養に要する日数または出席停止解除日）の記載が必要。 ・登校許可証明書（感染症用）等
その他教務委員会が認めた事由	欠席事由を証明できる書類等から判断できる期間に限る		<ul style="list-style-type: none"> ・欠席事由を証明できる書類等
【提出期限】 <ol style="list-style-type: none"> ① 授業の場合：欠席日を含めた原則 5 日以内に「授業欠席届」に必要書類を添付し、学務課に提出してください。 ② 試験の場合：指定された日時までに「追試験受験願」に必要書類を添付し、学務課に提出してください。 			

※新型コロナウイルス感染予防に関わる欠席は、大学 HP「新型コロナウイルス感染症への本学における対応について」を確認してください。

4) 天候による非常事態への対応

悪天候が予想される場合は、必ず下記の時刻に天気予報を確認してください。なお、休講措置については、確認の意味から学生緊急メールに一斉送信します。メールが受信できない学生は、必ず事前に設定を行っておいてください。

(1) 学生の休講措置の条件

午前7時および午前11時の時点で石狩中部（札幌市、江別市）または石狩全域に次のいずれかの特別警報または警報が発令された場合は、午前および午後の授業を休講にします。

確認時刻	休講する時限
午前7時	1・2時限の授業を休講にします。
午前11時	3・4・5時限の授業を休講にします。

(2) 発令警報の種類

- ①「暴風特別警報」または「大雨特別警報」が発令されている場合
- ②「暴風警報」と「大雨警報」が同時発令されている場合
- ③「大雪特別警報」または「大雪警報」が発令されている場合
- ④「暴風雪特別警報」または「暴風雪警報」が発令されている場合

※1. 注意報は該当しません。

※2. 日本気象協会では、石狩全域を次の3つに分類しています。

- ・石狩北部【石狩市、当別町、新篠津村】
- ・石狩中部【札幌市、江別市】
- ・石狩南部【千歳市、恵庭市、北広島市】

(3) 地震等の災害が発生した時に一斉に緊急メールを送信するので、その指示に従ってください。

5) 授業評価アンケート

履修しているすべての科目について、授業評価アンケートを行います。アンケートの結果は、データ化して記述式回答とともに各科目担当者へフィードバックし、今後の授業改善および組織的教育改善に活用します。集計結果は、掲示および図書館にて開示します。

I-9 試験について

1) 試験の種類・手続き

(1) 定期試験

原則として、学期末（前期末と後期末）の指定された期間に実施する試験です。ただし、学期途中で終了した科目については、学期末以外の時期に実施することがあります。

(2) 追試験

正当な理由によって、定期試験（定期試験に相当する試験を含む）を欠席した場合に実施する試験です。

評点の上限は、定期試験と同様の扱いとします。届け出をし、教務委員会に認められた場合、各科目1回限り受験することができます。

【追試験受験手続きの流れ】

①「大学が認める特段の理由」による欠席（p. 10の欠席事由に該当）

理由を明らかにする証明書類を「追試験受験願」に添付のうえ、指定された日時までに本人が学務課に提出	➡	教務委員会で認められた場合	無料で受験できます
		教務委員会で認められなかった場合	追試験を受験できません

②「やむを得ない事由」による欠席

理由を明らかにする証明書類を「追試験受験願」に添付のうえ、指定された日時までに本人が学務課に提出	➡	教務委員会で認められた場合	1科目300円で受験できます
		教務委員会で認められなかった場合	追試験を受験できません

※体調不良で定期試験を欠席した場合は、必ず病院等を受診し、診断書を追試験受験願に添付のうえ、学務課へ届け出てください。

診断書には、病名のほか、受診日および出席停止期間（自宅療養に要する日数または出席停止解除日）の記載が必要です。

受診日と診断結果、病名のみでの診断書、また病院等を受診せず、市販薬の領収書等を添付しても証明書としては認められません。

(3) 再試験

定期試験において不合格となり、再試験の該当となった場合は、指定された日時までに学務課窓口にて、本人が受験手続を行ってください。

受験料は1科目2,000円です。

再試験は、原則として各科目1回限り受験することができます。

なお、定期試験（定期試験に相当する試験を含む）を正当な理由なく欠席した場合は、再試験を受験することはできません。

2) 受験資格

以下のすべてに該当しなければ試験を受けることはできません。受験資格のない者が試験を受けても単位は与えられません。

- (1) 履修登録をしていること。
- (2) 講義、演習、実習および実技における授業出席時間数が、その授業実施時間数の3分の2以上であること。

授業で失格になる欠席回数	
8回実施科目の場合	4回の欠席で受験資格を失います。
15回実施科目の場合	6回の欠席で受験資格を失います。
30回実施科目の場合	11回の欠席で受験資格を失います。

- (3) 授業料その他納付金を納めていること。また、追・再試験の場合は、必要な手続きをしていること。
- (4) 学生証を提示していること。また、追・再試験の場合は、受験許可書または受験票とともに提示すること。

3) 試験の方法

試験は、以下のいずれかの方法で行います。

試験形式	①筆記試験、②口述試験、③レポート試験、④実技試験 ※各科目の試験方法は、シラバスの「評価方法・基準」にて確認してください。
------	-------------------------------------------------------------------

4) 試験時間

試験の時間割は、必ず掲示で確認してください。

試験時間は、原則1時限60分ですが、科目によっては90分の場合もあります。なお、天候等により試験時間の開始時間が遅くなる場合があります。

時 限	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
試験時間	9:30～10:30	11:00～12:00	13:00～14:00	14:30～15:30	16:00～17:00

5) 受験心得

受験にあたっては、下記の注意事項に十分留意のうえ、試験に臨んでください。

また、体調管理を行い、早めに登校するよう心がけてください。特に冬は交通機関の乱れが予想されますので注意が必要です。

- (1) 受験者は、必ず学生証を携行し、試験の際は、試験監督者の見やすい通路側の机の上に提示しなければなりません。
また、追・再試験の場合は、それぞれの受験許可書または受験票も必ず提示してください。
- (2) 学生証を紛失または忘れた場合は、学務課で仮学生証を発行します。仮学生証は、発行当日のみ有効で発行手数料は、300円です。

- (3) 指定された座席で受験してください。教室に座席表が貼られるので確認のうえ着席してください。
- (4) 試験開始10分前には着席してください。
- (5) 試験開始後20分以上遅刻した者は、受験を認めません。遅刻による試験時間の延長も行いません。
- (6) 試験開始後30分が経過するまでは、退室を認めません。
- (7) 試験場における物品の貸借および私語を禁じます。
- (8) 答案用紙は、原則として再配付しません。
- (9) 机上には、学生証(追・再試験受験票)、シャープペンシル、鉛筆、消しゴム、時計(時計機能だけのもの)、ハンカチ、目薬、特に持ち込みを許可されたもの置くことができ、ティッシュペーパーの使用は、申し出があった場合のみ、中身だけを机上に置くことができる。それ以外の持ち物は、すべて椅子の下に置いてください。
※それ以外に必要なものがある場合は必ず申し出ること。
- (10) 携帯電話や音の出る機器は、電源を切り、かばんに入れてください。
- (11) 答案用紙を提出する場合は、試験監督者の指示する場所に提出してください。
- (12) 体調不良、トイレに行きたい場合などは、挙手をして試験監督者に申し出てください。ただし、原則再入室はできません。
- (13) その他、試験場においては、すべて試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は、不正行為と同様に扱います。
- (14) 解答用紙には、必ず学籍番号と氏名を記載してください。

6) 不正行為

不正行為または疑わしい行為(試験監督者の指示に従わない者も含む)は、即時退室を命じ、それ以降の受験を停止するとともに、当該学期の履修科目のすべてを不合格とし、かつ学則第46条により、懲戒処分を行います。

I-10 単位・成績について

1) 単位について

単位とは、科目を修得するために必要な学習量を示すもので、単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとしています。例えば、1単位の講義の単位を修得するためには、大学における15時間の講義に加えて30時間の予習・復習の自己学習が伴った45時間の学修をし、授業実施時間数の3分の2以上出席して試験等の評価を受けて合格した場合に授与されます。本学では90分の授業で2時間相当の授業時間とみなしており、90分の講義に対して2時間の予習と2時間の復習が必要です。授業時間だけではなく、自学自習時間として、予習・復習を行う必要がありますので、以下に例を記載します。

(1) 授業形態ごとの単位の計算方法

単位数は、各授業科目に定められており、授業形態によって必要な学習時間が異なります。本学では、次の基準により計算しています(学則第24条)。

講義・演習	講義と演習は、15時間から30時間の範囲内で定める時間の授業をもって1単位とします。
実験・実習・実技	実験・実習および実技は、45時間をもって1単位とします。
卒業研究等	卒業研究等の授業科目は、その学修の成果を考慮して単位数を定めます。

(2) 単位と自学自習時間について

区分	具体例	必要学修時間	授業時間	授業時間以外の 自学自習時間
講義	2単位の講義科目を修得するための学修時間	90時間 (45時間×2)	30時間 (2時間×15回)	60時間 (4時間×15回)
演習	1単位の演習科目を修得するための学修時間	45時間 (45時間×1)	30時間 (2時間×15回)	15時間 (1時間×15回)
実習	1単位の实習科目を修得するための学修時間	45時間 (45時間×1)	45時間 (3時間×15回)	—

2) 単位修得に関する事項

(1) 成績評価

- ① 成績評点は100点満点とし、60点以上を合格、60点未満を不合格とします。
- ② 成績は、秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(60点未満)で表示され、可以上を合格とします。
- ③ 追試験の評価は100点満点とし、再試験の評価上限は60点とします。
- ④ 修得した科目(単位)の成績評価は、成績表に記載されます。成績表には、過去に修得したすべての科目の成績が記載されています。

(2) GPA制度

本学はGPA制度を導入しています。GPA制度とは、学生が履修登録した全科目の成績評価、評定に対して点数(グレード・ポイント(以下GP))を設定し、履修登録科目単位数を基に平均値を算出し、履修計画や学修指導、保健師国家試験受験資格希望者選抜、就職活動の際の学校推薦者選抜などに役立てるものです。

GPAの最高値は「4.00」、最低値は「0.00」となります。

① 成績評価とGP

評価区分	評定(英語表記)	付加するGP
100～90点	秀(S)	4
89～80点	優(A)	3
79～70点	良(B)	2
69～60点	可(C)	1
60点未満(59～0点)	不可(D)	0
出席時間数の 2/3に満たない者	失格(P)	0
学期途中での休学、退学	評定不能(W)	0
既修得単位認定科目	認定(N)	GPAの対象としない

② GPAの算出方法

上表の「付加するGP」を基に計算を行います。

$$GPA = \frac{(\text{「秀」の単位数} \times 4 + \text{「優」の単位数} \times 3 + \text{「良」の単位数} \times 2 + \text{「可」の単位数} \times 1)}{\text{総履修登録単位数}}$$

※算出された数値の小数点第3位以下は切り捨てる。

③ GPAに関する注意事項

- a) 転学科（栄養学科）については、単位認定した科目の成績は「認定」となることから、GPA算出の対象になりません。
- b) 履修訂正期間内に取り消し手続きを行わなかった場合や履修放棄した場合などは、不合格科目もGPAの算出に含まれます。履修をやめた科目や不必要な科目は、必ず履修登録の訂正期間に取り消しの手続きを行ってください。
- c) 累積成績に基づくGPAを算出する際に、再履修科目が合格した場合は、当該科目を履修する以前に不合格となった科目（単位数）は計算式（分母）から除きます。
- d) 入学前に修得した単位のうち、本学で既修得単位と認定した科目は、GPAの対象にはなりません。

(3) 他大学等における科目の履修等（学則第26条参照）

- ① 教育上有益と認める時は、他大学等との協議に基づき、当該他大学等の科目を履修することができます。修得した単位は、60単位を限度として卒業要件単位として認められる場合があります。

- ② 入学前の既修得単位の認定（学則第28条参照）

入学する前の大学または短期大学等において修得した単位について、審査を受け承認されると本学の科目として単位が認定されます。なお、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えることはできません。詳細は、「既修得単位認定規程」をご覧ください。

(4) 転学科における科目の履修等

転学科前に在籍していた学科で履修した科目の単位認定は、該当科目において行われます。2年次以降の科目の履修については、担任または学務課で相談してください。

3) 成績通知

最終評価が記載された成績表は、学期末の試験終了後に学生および保護者に通知します。

保護者への送付時期

- 前期：9月下旬
- 後期：3月下旬

Ⅱ 栄養学科

Ⅱ-1 栄養学科の臨地実習（先修条件）

1) 実習の先修条件

臨地実習に係る科目を履修するためには、あらかじめ単位を修得しておかなければならない科目があり、『先修条件』として次のとおり細則で定めています。

臨地実習を受講する際は、各実習のオリエンテーションでの説明をよく聞いて臨んでください。臨地実習先（病院や施設など）や時期は、科目によって異なります。

科 目	先修条件 (単位を修得しなければならない科目)
給食経営管理論実習Ⅱ	給食経営管理論Ⅰ
	給食経営管理論Ⅱ
	給食経営管理論実習Ⅰ
公衆栄養学実習Ⅱ	公衆栄養学Ⅰ
	公衆栄養学Ⅱ
	公衆栄養学実習Ⅰ
給食経営管理論実習Ⅲ	給食経営管理論実習Ⅱ
臨床栄養学実習Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅴ	臨床栄養学Ⅰ
	臨床栄養学Ⅱ
	臨床栄養学実習Ⅰ
	臨床栄養学Ⅲ
	臨床栄養学実習Ⅱ
	給食経営管理論実習Ⅱ

2) 臨地実習における追実習と再実習について

(追実習)

臨地実習における追実習とは、「大学が認める特段の理由による欠席」等により、やむを得ず実習を欠席した場合、当該科目を修得するために行う実習をいいます。

- ・ 追実習を受けようとする学生は、「授業欠席届」と「欠席理由を明らかにする証明書類」を当該科目の実習終了後5日以内に学務課に提出する。
- ・ 所定の手続きにより教務委員会で認められた場合、各科目1回限り実習することができる。
- ・ 追実習は原則として履修登録した年度内の全実習終了後、実習施設との調整可能な期間に実施する。ただし、調整が不可能な場合は次年度に実施する。
- ・ 追実習の期間および日程、内容は当該科目欠席日数および学習状況により決定する。
- ・ 単位認定のためには、原則3分の2以上の出席が必要である。
- ・ 評価は、通常の単位認定評価と同様とする。

(再実習)

臨地実習における再実習とは、不合格(60点未満)となった実習科目について当該科目を修得するために行う実習をいいます。

- ・ 再実習は、履修登録した当該年度内に行うことはできない。
- ・ 当該年度内に単位が修得できなかった実習科目は、次年度に再履修登録を行い実習に臨まなければならない。
- ・ 単位認定のためには、原則3分の2以上の出席が必要である。
- ・ 評価は、通常の単位認定評価と同様とする。

Ⅱ-2 栄養学科の卒業要件・進級要件

1) 卒業要件

4年以上在学し、卒業に必要な単位数を修得していることが必要です。

科目区分	基礎教育科目	専門基礎科目	専門科目	小計
必修単位	17 単位	40 単位	49 単位	106 単位
選択単位	9 単位以上	4 単位以上	7 単位以上 ※選択必修 1 単位含む	20 単位以上
選択必修単位 ※	—	—	「給食経営管理論実習Ⅲ」 または「公衆栄養学実習Ⅱ」 のどちらか1 単位を選択必修 科目として修得すること	
小 計	26 単位以上	44 単位以上	56 単位以上	126 単位以上
合 計	126 単位以上			

※選択必修科目として修得した科目は選択科目には振り替えられないので、注意すること。

2) 進級要件

上級学年に進級するためには、次の要件を満たしていることが必要です。

● 2年次進級

在学期間	基礎教育科目	専門基礎科目	専門科目
1 年以上	—	—	—

● 3年次進級

在学期間	基礎教育科目	専門基礎科目	専門科目
2 年以上	2年次までに配当 されている必修科目 17 単位	2年次までに配当されている必修科目 54 単位以上	
	選択科目 6 単位以上		

● 4年次進級

在学期間	基礎教育科目	専門基礎科目	専門科目
3 年以上	—	3年次までに配当されている必修科目 77 単位以上	

※編入生については、「4年次進級要件」は対象外になります。

Ⅱ-3 栄養学科の資格の取得

1) 栄養士免許

本学の保健医療学部栄養学科を卒業した者は、栄養士免許を取得できます。

(1) 免許証申請手続きの流れ

4年次に申請手続きを行います。

時期 (予定)	内 容
12月	栄養士免許申請書類の提出・点検
2月下旬	卒業判定会議で卒業の認定
3月初～中旬	北海道(庁)から栄養士免許証を受理
3月中旬	卒業式で栄養士免許証を交付

(2) 免許申請について

免許の申請は、大学が一括で行います。

2) 管理栄養士国家試験受験資格

本学の保健医療学部栄養学科を卒業した者は、管理栄養士の国家試験受験資格を取得することができます。

(1) 国家試験申請手続きの流れ

4年次に申請手続きを行います。

時期 (予定)	内 容
11月	国家試験ガイダンスの実施
12月上旬	大学から願書を一括提出
2月下旬	卒業判定会議で卒業の認定
3月上旬	管理栄養士国家試験
3月下旬	国家試験合格発表

(2) 免許申請について

国家試験合格後の免許の申請は、各自で手続きすることになります。

3) 栄養教諭一種免許状

私たち人間は、食物を摂取し、「栄養」という営みに役立つ食物の成分を体内に取り入れて生命を維持しています。したがって、健康的に生きるためには、食生活で「栄養」に有用な食物成分を摂取することが不可欠です。しかし、近年、食生活の乱れが顕在化し、児童・生徒においても偏った食物成分の摂取による肥満や痩身が増加などの問題が生じ、家庭だけではなく、学校や地域においても健全な食習慣を身につけるための食育を推進していく必要性が高まり、2005年に栄養教諭制度が創設されました。

栄養教諭とは、学校(小学校・中学校・特別支援学校等)において、食育を推進する重要な役割を担う教諭で、「教育に関する資質」と「栄養に関する専門性」を併せ持ち、学校給食を生きた教材として活用し、効果的な教育を行うことが期待されています。

栄養教諭の職務内容には、「食に関する指導」と「学校給食の管理」があります。「食に関する指導」とは、①児童生徒への個別的な相談指導、②児童生徒への教科・特別活動等における教育指導、③食に関する教育指導の連携・調整です。「学校給食の管理」とは、①学校給食に関する基本計画の策定への参画、②栄養管理(基準に適した献立の作成、③衛生管理(点検、指導等)、④学校給食の検食、検査用保存食の管理、⑤使用食材料の選定、購入、保管等、⑥調理従事者への指導等が示されています。

所定の手続きを経た上で、必要な科目の単位を修得して、本学の保健医療学部栄養学科を卒業した者は、「栄養教諭一種免許状」を取得できます。免許状取得に必要な科目と単位数は、別表1のとおりです。

別表 1 栄養教諭一種免許状取得に必要な科目及び単位数

栄養に係る教育に関する科目（4単位）

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目		
各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	単位数及び教職における必修・選択の別	
			必修	選択
栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 食生活に関する歴史的及び文化的事項	4	食生活論	2	
食に関する指導の方法に関する事項		食育指導論	2	

教職に関する科目（18単位）

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目			
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	単位数及び教職における必修・選択の別	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育原理	1	
	教職の意義及び教育の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	1	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	1	
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育論	1	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		特別活動・総合的な学習指導論	1	
	生徒指導の理論及び方法		教育方法論	1	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		生徒指導論	1	
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	栄養教育実習事前・事後指導	1	
			栄養教育実習	1	
	教職実践演習	2	教職実践演習	2	

教員免許法施行規則第66条の6に定める科目（8単位）

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目		
各科目に含める必要事項	単位数	授業科目	単位数及び教職における必修・選択の別	
			必修	選択
日本国憲法	2	法と人権	2	
体育	2	スポーツ理論	1	
		スポーツ科学と運動	1	
外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ（基礎）	1	
		英語Ⅱ（会話）	1	
情報機器の操作	2	情報処理	1	
		情報リテラシー	1	

4) 食品衛生管理者・食品衛生監視員（任用資格）

本学の保健医療学部栄養学科を「有機化学」の単位を修得し卒業した者は、食品衛生管理者、食品衛生監視員の任用資格を取得することができます。

食品衛生管理者は、食品衛生法第48条の規定により、製造又は加工の過程において特に衛生上の考慮を必要とする食品又は添加物であって、食品衛生法施工令で定めるものの製造又は加工を行う営業者は、その製造又は加工を衛生的に管理させるため、その施設ごとに、専任の食品衛生管理者を置かなければならないことになっています。営業者は、本任用資格者を食品衛生管理者として置き、15日以内に都道府県知事（保健所）に届け出を行います。

なお、食品衛生監視員は公務員で、国家公務員の場合は、輸入食品の安全監視および指導（輸入食品監視業務）、輸入食品等に係る微生物検査と理化学検査（検査業務）、検疫感染症の国内への侵入防止（検疫衛生業務）などの業務に従事します。

地方公務員の場合は、保健所等に勤務し、飲食店等の営業施設の許可事務と監視および指導、食品検査、食品に関する苦情や相談への対応などを行います。

北海道の場合は、「食品衛生監視等の業務に従事する管理栄養士」など、職種で募集を行っています。年度によって採用募集方法の変更が生じますので北海道のHPで確認してください。

食品衛生管理者・監視員に係る資格取得指定科目一覧表

食品衛生法施行規則 別表第十四（第五十条関係）					
学 科	科 目	本学履修科目	単 位 数		開講年次
			必修	選択	
化学関係	有機化学	有機化学		2	1
	無機化学	基礎化学	2		1
生物化学関係	生物化学	生化学Ⅰ	2		1
		生化学Ⅱ	2		2
		生化学実験	1		2
	食品化学	食品科学Ⅰ	2		1
		食品科学Ⅱ	2		1
		食品科学実験Ⅰ	1		1
		食品科学実験Ⅱ	1		3
微生物関係	微生物学	微生物学	2		1
		微生物学実験	1		1
公衆衛生学関係	公衆衛生学	公衆衛生学	2		2
		公衆衛生学実習	1		2
	食品衛生学	食品衛生学	2		2
		食品衛生学実験	1		2
		合計単位数	22	2	—

食品衛生法施行規則 別表第十五（第五十条関係）						
学 科	科 目	本学履修科目	単 位 数		開講年次	
			必修	選択		
その他の関連科目	病理学	病理学	2		2	
	産業医学	健康管理概論	2		2	
	栄養化学	臨床栄養学Ⅱ	2		3	
	栄養学		基礎栄養学	2		1
			基礎栄養学実験	1		2
			応用栄養学Ⅰ	2		2
			応用栄養学Ⅱ	2		2
			応用栄養学Ⅲ	2		3
			応用栄養学実習	1		3
	衛生管理学		給食経営管理論Ⅰ	2		2
			給食経営管理論Ⅱ	2		2
			給食経営管理論実習Ⅰ	1		2
		合計単位数	21	0	—	

総修得可能単位数	45
----------	----

Ⅱ-4 教育目標とディプロマ・ポリシー

2021年度以降入学生

栄養学科

本学の教育目標	学科の教育目標	学科ディプロマ・ポリシー
1. 人間力を涵養し、社会の一員としての社会的態度と行動をとることができる人材を育成する。	1. 自己の良心と社会規範に従い、自己を統制し、責任ある行動のできる栄養専門職者を育成する。	DP1-1 社会の一員として社会規範を守り、自己統制力および責任ある行動力を身につけている。
	2. 目的に適った情報の収集と論理的な思考・判断を行い、適切に表現できる栄養専門職者を育成する。	DP1-2 情報収集力・論理的思考力・多様な表現力を総合的に身につけている。
2. 生命への畏敬の念を抱き、人間の尊厳と多様な価値観を尊重できる人材を育成する。	自然と共生するすべての生命を尊び、人間の尊厳を守り、人々の多様な価値観を尊重できる栄養専門職者を育成する。	DP2 生命への畏敬の念を抱き、人間の尊厳を守り、人々の多様な価値観を尊重できる能力を身につけている。
3. 人間と環境と健康の相互作用を理解し、健康を社会的視点から捉えることができる人材を育成する。	人間・環境・健康を体系的に理解し、健康生活に関わる栄養と食について、社会的視点から多角的に捉えることのできる栄養専門職者を育成する。	DP3 人間・環境・健康に関する知識を活用し、健康生活に関わる栄養と食の社会的な諸課題を多角的に捉える能力を身につけている。

本学の教育目標	学科の教育目標	学科ディプロマ・ポリシー
4. 保健医療の専門職として求められる知識・技術・態度等を有し、実践力のある人材を育成する。	1. 栄養管理の対象となる個人・家族・集団の特性を理解し、人々の健康生活に適した栄養ケアをマネジメントできる栄養専門職者を育成する	DP4-1 栄養管理の対象となる人々の健康レベルと生活特性に適した栄養ケアのマネジメント力の基礎を身につけている。
	2. 地域社会の栄養と食生活に関する健康課題を評価・判定し、課題解決に向けた効果的な栄養と食に関する生活支援を実践できる栄養専門職者を育成する。	DP4-2 地域社会における栄養と食生活に関する健康課題を評価・判定し、課題解決に向けた効果的な栄養教育や食生活の支援のための実践力の基礎を身につけている。
5. 社会生活や保健医療福祉で関わる人々との連携および協働できる人材を育成する。	社会と保健医療福祉分野での管理栄養士の役割と責務を認識し、多職種および関係者と連携・協働できる栄養専門職者を育成する。	DP5 保健医療福祉を担う管理栄養士の役割と責務に基づき、対象者のQOLの向上に向けて多職種および関係者と連携・協働できる能力の基礎を身につけている。
6. 保健医療福祉の諸課題への探求心を持ち、将来にわたり学修し、成長し続ける人材を育成する。	保健医療福祉の動向を捉え、管理栄養士としての専門性を探求し、将来にわたり能力向上のために自己研鑽し続ける栄養専門職者を育成する。	DP6 保健医療福祉および栄養学の発展を志向し、栄養専門職としての専門的能力を継続的に向上させるために必要な能力を身につけている。

Ⅱ-5 教育課程表

(卒業までに必要な授業科目と単位数の一覧)

2021年度以降入学生 栄養学科

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数		開講年次・時間数								栄養教諭 一種免許 取得希望者	卒業必要単位数																			
			必修	選択	1年		2年		3年		4年																						
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期																					
基礎 教育 科目	学習と思考力	学びの理解	講義	1		15																				●	【基礎教育科目】 必修科目17単位 選択科目9単位以上 計26単位以上修得						
		論理的思考	講義	2		30																							●				
		情報処理	演習	1		30																								●			
		統計分析法	演習	1			30																							●			
		情報リテラシー	演習	1			30																							●			
		生物学	講義		1	15																											
	基礎化学	講義	2		30																												
	言語と表現力	英語 I (基礎)	演習	1		30																								●			
		英語 II (会話)	演習	1		30																									●		
		英語 III (読解)	演習		1		30																										
		英語 IV (総合)	演習		1			30																									
		表現技法 I (読解・分析)	演習	1		30																											
		表現技法 II (討議・発表)	演習	1		30																											
	人間と社会	心理学	講義	2		30																											
		倫理学	講義	1		15																											
		生態学	講義		1	15																											
		スポーツ科学と運動	演習	1		30																										●	
		スポーツ理論	講義	1		15																										●	
		地域社会文化論	講義	2		30																											
		社会貢献と活動	演習	1			30																										
		生活環境論	講義	2			30																										
		現代社会論	講義	2			30																										
		国際社会論	講義		1				15																								●
		法と人権	講義	2		30																											
	教育学	講義	1				15																										
	文学と人間	講義	1				15																										
小計 (26科目)			17	16																													
専門 基礎 科目	社会・環境と健康	生涯発達論	講義	1		15																											
		人間関係論	講義	1		15																											
		生命倫理	講義		1			15																									
		医療概論	講義		2			30																									
		健康管理概論	講義	2				30																									
		公衆衛生学	講義	2				30																									
		公衆衛生学実習	実習	1					45																								
	保健医療福祉行政論	講義	1								15																						
	特別総合科目	演習		1		30																											
	人体の構造と機能 及び疾病の成り立ち	形態機能学 I	講義	2		30																											
		形態機能学 II	講義	2		30																											
		形態機能学実習 I	実習	1					45																								
		形態機能学実習 II	実習	1						45																							
		有機化学	講義		2	30																											
		病理学	講義	2				30																									
		微生物学	講義	2			30																										
		微生物学実験	実験	1			45																										
		生化学 I	講義	2			30																										
		生化学 II	講義	2				30																									
		生化学実験	実験	1					45																								
	病態診療学 I	講義	2						30																								
	病態診療学 II	講義	2							30																							
	食べ物と健康	食品科学 I	講義	2		30																											
		食品科学 II	講義	2			30																										
		食品科学 III	講義		2					30																							
		食品科学実験 I	実験	1			45																										
		食品科学実験 II	実験	1							45																						
		食品機能学	講義		2									30																			
		食品衛生学	講義	2				30																									
		食品衛生学実験	実験	1					45																								
		調理学	講義	2		30																											
	調理学実習 I	実習	1		45																												
	調理学実習 II	実習	1			45																											
小計 (33科目)			40	11																													

教育課程表 2021年度以降入学生

科目区分	授業科目の名称	学科ディプロマ・ポリシー								
		◎：強く関連するディプロマ・ポリシー、○：関連するディプロマ・ポリシー								
		DP1-1	DP1-2	DP2	DP3	DP4-1	DP4-2	DP5	DP6	
基礎 教育 科目	学習と思考力	学びの理解	○	◎	○	○			○	○
		論理的思考		◎						
		情報処理		◎						
		統計分析法		◎						
		情報リテラシー	○	◎						
		生物学			◎	○				
	基礎化学			◎	○					
	言語と表現力	英語Ⅰ(基礎)	○	◎	○					
		英語Ⅱ(会話)	○	◎	○					
		英語Ⅲ(読解)		◎						
		英語Ⅳ(総合)		◎						
		表現技法Ⅰ(読解・分析)	○	◎						
		表現技法Ⅱ(討議・発表)	○	◎						
	人間と社会	心理学	○	◎	○	○				
		倫理学	◎	○		○				
		生態学		○	◎	○				
		スポーツ科学と運動	◎	○		○			○	
		スポーツ理論		○		◎				
		地域社会文化論		○	◎	○				
		社会貢献と活動	◎	○	○					
		生活環境論	○	○	◎	○				
		現代社会論	○	○	◎	○				
		国際社会論	○	○	◎	○				
		法と人権	◎	○	◎	○				
	教育学	◎	○	○						
	文学と人間	○	○	◎						
小計 (26科目)										
専門 基礎 科目	社会・環境と健康	生涯発達論			◎	○				
		人間関係論	◎		○	○				
		生命倫理			◎					
		医療概論	○			◎			○	○
		健康管理概論				◎				
		公衆衛生学				◎				
		公衆衛生学実習		◎		○			○	
		保健医療福祉行政論				○		○	◎	
	特別総合科目	◎	○		○					
	人体の構造と機能 及び疾病の成り立ち	形態機能学Ⅰ		○	○	◎				
		形態機能学Ⅱ		○	○	◎				
		形態機能学実習Ⅰ	○	○	○	◎			○	
		形態機能学実習Ⅱ	○	○	○	◎			○	
		有機化学		○		◎				
		病理学		○		◎				
		微生物学		○		◎				
		微生物学実験	○	○		◎			○	
		生化学Ⅰ		○		◎				
		生化学Ⅱ		○		◎				
		生化学実験	○	○		◎			○	
	病態診療学Ⅰ		○		◎					
	病態診療学Ⅱ		○		◎					
	食べ物と健康	食品科学Ⅰ		○	○	◎				○
		食品科学Ⅱ		○	○	◎				○
		食品科学Ⅲ		○	○	◎				○
		食品科学実験Ⅰ	○	○	○	◎			○	○
		食品科学実験Ⅱ	○	○	○	◎			○	○
		食品機能学		○		◎				○
		食品衛生学		○		◎				○
		食品衛生学実験	○	○		◎			○	○
		調理学		○	○	◎				○
		調理学実習Ⅰ	○	○	○	◎			○	○
		調理学実習Ⅱ	○	○	○	◎			○	○
小計 (33科目)										

教育課程表

(卒業までに必要な授業科目と単位数の一覧)

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数		開講年次・時間数								栄養教諭 一種免許 取得希望者	卒業必要単位数				
			必修	選択	1年		2年		3年		4年							
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専門科目	管理栄養士論	管理栄養士論	講義	1		15												
		管理栄養士総合演習	演習	1										30				
	基礎栄養学	基礎栄養学	講義	2			30											
		基礎栄養学実験	実験	1				45										
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	講義	2				30										
		応用栄養学Ⅱ	講義	2					30									
		応用栄養学Ⅲ	講義	2						30								
		応用栄養学実習	実習	1								45						
		免疫と栄養	講義		1							15						
		スポーツ栄養学総論	講義		1				15									
		スポーツ栄養学(基礎)	講義		1						15							
		スポーツ栄養学(応用)	講義		1								15					
		スポーツ栄養学演習	演習		1								30					
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	講義	2				30										
		栄養教育論Ⅱ	講義	2					30									
		栄養教育論Ⅲ	講義	2						30								
		栄養教育論実習	実習	1								45						
		栄養カウンセリング演習	演習		1						30							
		食生活論	講義		2						30							●
		食育指導論	講義		2							30						●
		食育農場演習	演習		1	30												
		食育実践演習	演習		1			30										
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	講義	2				30										
		臨床栄養学Ⅱ	講義	2					30									
		臨床栄養学Ⅲ	講義	2							30							
		臨床栄養学Ⅳ	講義	2								30						
		臨床栄養学実習Ⅰ	実習	1						45								
		臨床栄養学実習Ⅱ	実習	1								45						
		臨床栄養学実習Ⅲ	実習	1									45					
		栄養サポートチーム論	演習		1									15				
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	講義	2						30								
		公衆栄養学Ⅱ	講義	2							30							
		公衆栄養学実習Ⅰ	実習	1								45						
		地域栄養活動演習	演習		1								30					
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	講義	2				30										
		給食経営管理論Ⅱ	講義	2					30									
		給食経営管理論実習Ⅰ	実習	1						45								
	総合演習	総合演習Ⅰ	演習	1						30								
		総合演習Ⅱ	演習	1								30						
	統合科目	英語文献講読演習	演習		1						30							
		卒業研究	演習		2								60					
		地域連携ケア論Ⅰ	講義		1		15											
		地域連携ケア論Ⅱ	講義		1			15										
		地域連携ケア論Ⅲ	講義		1				15									
	臨地実習	給食経営管理論実習Ⅱ	実習		1						45							
		給食経営管理論実習Ⅲ	実習		△1							45						
		公衆栄養学実習Ⅱ	実習		△1							45						
		臨床栄養学実習Ⅳ	実習		2								90					
		臨床栄養学実習Ⅴ	実習		2								90					
	小計(50科目)			49	21													
合計(109科目)			106	48													合計126単位以上	
栄養教諭一種免許取得に必要な科目	教職概論	講義		2	30												●	
	教育原理	講義		1	15												●	
	教育制度論	講義		1	15												●	
	教育課程論	講義		1			15										●	
	教育方法論	講義		1			15										●	
	道徳教育論	講義		1			15										●	
	特別活動・総合的学習指導論	講義		1				15									●	
	生徒指導論	講義		1				15									●	
	特別支援教育概論	講義		1						15							●	
	教育心理学	講義		2					30								●	
	教育相談論	講義		2						30							●	
	栄養教育実習事前・事後指導	実習		1							45						●	
	栄養教育実習	実習		1							45						●	
	教職実践演習	演習		2								60					●	
合計(14科目)				18														

【専門科目】
必修科目49単位

選択必修科目
「給食経営管理論実習Ⅲ」
または
「公衆栄養学実習Ⅱ」
のうち1単位
ならびに
選択科目6単位以上

計56単位以上修得

教育課程表 2021年度以降入学生

科目区分	授業科目の名称	学科ディプロマ・ポリシー								
		◎：強く関連するディプロマ・ポリシー、○：関連するディプロマ・ポリシー								
		DP1-1	DP1-2	DP2	DP3	DP4-1	DP4-2	DP5	DP6	
専 門 科 目	管理栄養士論	◎		○	○					
	管理栄養士総合演習				◎	◎	◎	○	○	
	基礎栄養学				◎					
	基礎栄養学実験				◎					
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ				○	◎	○		
		応用栄養学Ⅱ				○	◎	○		
		応用栄養学Ⅲ				○	◎	○		
		応用栄養学実習				○	◎	○		○
		免疫と栄養				◎				
		スポーツ栄養学総論				○	◎			
		スポーツ栄養学(基礎)				○	◎			
		スポーツ栄養学(応用)				○	◎			
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ			○	◎	○	○		
		栄養教育論Ⅱ				◎	○	○		
		栄養教育論Ⅲ				○	◎	○		
		栄養教育論実習				○	◎	◎		○
		栄養カウンセリング演習			○	○	◎	○		
		食生活論				◎	○		○	
		食育指導論				◎	○			
		食育農場演習	○		○	◎				
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	○		○	○	◎			
		臨床栄養学Ⅱ				○	◎		○	
		臨床栄養学Ⅲ				○	◎		○	
		臨床栄養学Ⅳ				○	◎		○	
		臨床栄養学実習Ⅰ				○	◎		◎	
		臨床栄養学実習Ⅱ				○	◎		◎	
		臨床栄養学実習Ⅲ				○	◎		◎	○
		栄養サポートチーム論				○	○		◎	○
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	○	○		◎		◎		
		公衆栄養学Ⅱ		○		○		◎		◎
		公衆栄養学実習Ⅰ		◎		○		◎		
		地域栄養活動演習		○		○		◎		
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	◎			○	○			
		給食経営管理論Ⅱ				◎	○			
		給食経営管理論実習Ⅰ				○	◎		○	
	総合演習	総合演習Ⅰ	◎			○	○		○	○
		総合演習Ⅱ		○	○	○	○	○	◎	◎
	統合科目	英語文献講読演習		◎		○				
		卒業研究	○	○		◎				○
		地域連携ケア論Ⅰ	○	○	○			○	◎	
		地域連携ケア論Ⅱ	○	○	○	○		○	◎	
		地域連携ケア論Ⅲ	○	○	○	○		○	◎	
	臨地実習	給食経営管理論実習Ⅱ				◎	◎		○	○
		給食経営管理論実習Ⅲ				○	◎	○	○	◎
		公衆栄養学実習Ⅱ				◎		○	○	◎
		臨床栄養学実習Ⅳ	○			◎	○		◎	○
		臨床栄養学実習Ⅴ	○			◎	○		◎	○
小計 (50科目)										
合計 (109科目)										

卒業要件及び履修方法

[卒業要件]

基礎教育科目では26単位以上（必修17単位および選択科目9単位以上）、専門基礎科目44単位以上（必修40単位および選択科目4単位以上）、専門科目56単位以上（必修49単位および選択必修科目「給食経営管理論実習Ⅲ」または「公衆栄養学実習Ⅱ」のうち1単位ならびに選択科目6単位以上）を履修し、合計126単位以上を修得していること。但し、栄養教諭一種免許取得に必要な科目は含まない。

※原則、基礎教育科目のうち選択科目の履修は開講年次とするが、当該科目の単位修得状況により下級年次配当科目の履修を認める。

[資格取得要件及び履修方法]

1年間の履修科目の登録の上限は、48単位とする。但し、栄養教諭一種免許取得に必要な科目は含まない。

[選択必修科目]

専門科目の単位数に△がついた科目で、どちらか1科目を必ず修得すること。また、この科目を選択科目に振り替えることはできない。

Ⅱ－6 科目配置表

2021年度以降入学生

栄養学科

科目区分	1年次				2年次				
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	
基礎 教育 科目	学習と思考力	学びの理解	1	統計分析法	1				
		論理的思考	2	情報リテラシー	1 *				
	言語と表現力	情報処理	1 *						
		生物学	選 (1)						
人間と社会	基礎化学	2							
	英語Ⅰ(基礎)	1 *	英語Ⅱ(会話)	1 *	英語Ⅲ(読解)	選 (1)	英語Ⅳ(総合)	選 (1)	
	表現技法Ⅰ(読解・分析)	1	表現技法Ⅱ(討議・発表)	1					
小計 (内選択科目計)	心理学	2	スポーツ科学と運動	選 (1) *	社会貢献と活動	選 (1)	国際社会論	選 (1)	
	倫理学	1	スポーツ理論	選 (1) *	生活環境論	選 (2)	教育学	選 (1)	
	生態学	選 (1)	地域社会文化論	選 (2)	現代社会論	2	文学と人間	選 (1)	
			法と人権	選 (2) *					
	10科目 (選択2科目)	13	8科目 (選択4科目)	10	4科目 (選択3科目)	6	4科目 (選択4科目)	4	
専門 基礎 科目	社会・環境 と健康	人間関係論	1	生涯発達論	選 (1)	生命倫理	選 (1)	健康管理概論	2
		特別総合科目【通】	選	特別総合科目【通】	選 (1)	医療概論	選 (2)	公衆衛生学実習	1
	人体の構造と 機能及び疾病の 成り立ち	形態機能学Ⅰ	2	形態機能学Ⅱ	2	形態機能学実習Ⅰ	1	形態機能学実習Ⅱ	1
		有機化学	選 (2)	微生物学	2	病理学	2	病態診療学Ⅰ	2
			微生物学実験	1	生化学Ⅱ	2			
食べ物と健康	食品科学Ⅰ	2	食品科学Ⅱ	2	食品衛生学	2	食品科学Ⅲ	選 (2)	
	調理学	2	食品科学実験Ⅰ	1	食品衛生学実験	1			
	調理学実習Ⅰ	1	調理学実習Ⅱ	1					
小計 (内選択科目計)	7科目 (選択2科目)	10	9科目 (選択2科目)	13	9科目 (選択2科目)	14	5科目 (選択1科目)	8	
専門 科目	管理栄養士論	管理栄養士論	1						
	基礎栄養学			基礎栄養学	2	基礎栄養学実験	1		
	応用栄養学					応用栄養学Ⅰ	2	応用栄養学Ⅱ	2
								スポーツ栄養学総論	選 (1)
	栄養教育論	食育農場演習【通】	選	食育農場演習【通】	選 (1)	栄養教育論Ⅰ	2	栄養教育論Ⅱ	2
					食育実践演習【通】	選	食育実践演習【通】	選 (1)	
	臨床栄養学						臨床栄養学Ⅰ	2	
	公衆栄養学								
	給食経営管理論					給食経営管理論Ⅰ	2	給食経営管理論Ⅱ	2
								給食経営管理論実習Ⅰ	1
総合演習									
統合科目			地域連携ケア論Ⅰ	1	地域連携ケア論Ⅱ	1			
臨地実習									
小計 (内選択科目計)	2科目 (選択1科目)	1	3科目 (選択1科目)	4	6科目 (選択1科目)	8	7科目 (選択2科目)	11	
合計	19科目 (選択5科目)	24	20科目 (選択7科目)	27	19科目 (選択7科目)	28	16科目 (選択15科目)	23	
栄養教諭一種免許取得 申請に必要な科目	教職概論	選 (2)	教育原理	選 (1)	教育課程論	選 (1)	特別活動・総合的学習指導論	選 (1)	
			教育制度論	選 (1)	教育方法論	選 (1)	生徒指導論	選 (1)	
					道徳教育論	選 (1)	特別支援教育概論	選 (1)	
合計	1科目 (選択1科目)	2	2科目 (選択2科目)	2	3科目 (選択3科目)	3	3科目 (選択3科目)	3	

1. 「選」は選択科目。単位数の(数字)は選択科目、その他は必修科目である。
2. 選択科目のうち、「※」の給食経営管理論実習Ⅲと公衆栄養学実習Ⅱは選択必修科目である。
3. 【通】は通年科目。通年科目の単位数は該当年次の後期に単位数が記載されている(通年科目の前期の単位数には数字を記載していない)。
4. 「*」科目は、栄養教諭一種免許取得申請に必要な科目にも該当。

科目配置表

科目区分		3年次				4年次				単位計 (内選択計)	
		前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位		
基礎教育科目	学習と思考力									9 (選択1)	
	言語と表現力									6 (選択2)	
	人間と社会									18 (選択13)	
	小計		0		0		0		0	33 (選択16)	
専門基礎科目	社会・環境と健康			保健医療福祉行政論	1					12 (選択5)	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	病態診療学Ⅱ	2							22 (選択2)	
	食べ物と健康	食品科学実験Ⅱ	1			食品機能学	選(2)			17 (選択4)	
	小計	2科目	3	1科目	1	1科目 (選択1科目)	2		0	51 (選択11)	
専門教育科目	管理栄養士論					管理栄養士総合演習【通】		管理栄養士総合演習【通】	1	2	
	基礎栄養学									3	
	応用栄養学	応用栄養学Ⅲ	2	応用栄養学実習	1						12 (選択5)
		スポーツ栄養学(基礎)	選(1)	免疫と栄養	選(1)						
		スポーツ栄養学演習【通】	選	スポーツ栄養学(応用)	選(1)						
	栄養教育論	栄養教育論Ⅲ	2	栄養教育論実習	1						14 (選択7)
		栄養カウンセリング演習	選(1)	食育指導論	選(2)*						
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅱ	2	臨床栄養学Ⅲ	2	臨床栄養学Ⅳ	2	栄養サポートチーム論	(1)		12 (選択1)
		臨床栄養学実習Ⅰ	1	臨床栄養学実習Ⅱ	1	臨床栄養学実習Ⅲ	1				
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2	公衆栄養学Ⅱ	2	地域栄養活動演習	選(1)				6 (選択1)
				公衆栄養学実習Ⅰ	1						
	給食経営管理論										5
	総合演習	総合演習Ⅰ	1			総合演習Ⅱ	1				2
	統合科目	地域連携ケア論Ⅲ	1	英語文献講読演習	選(1)	卒業研究【通】	選	卒業研究【通】	選(2)		7 (選択3)
臨地実習	給食経営管理論実習Ⅱ	1			給食経営管理論実習Ⅲ【通】	選	給食経営管理論実習Ⅲ【通】	選(1)※		7 (選択4)	
			公衆栄養学実習Ⅱ【通】	選	公衆栄養学実習Ⅱ【通】	選(1)※					
			臨床栄養学実習Ⅳ【通】	選	臨床栄養学実習Ⅳ【通】	選(2)					
			臨床栄養学実習Ⅴ【通】	選	臨床栄養学実習Ⅴ【通】	選(2)					
小計 (内選択科目計)	12科目 (選択4科目)	16	11科目 (選択5科目)	14	10科目 (選択5科目)	5	8科目 (選択7科目)	11		70 (選択21)	
合計	14科目 (選択4科目)	19	12科目 (選択5科目)	15	11科目 (選択7科目)	7	8科目 (選択7科目)	11		154 (選択48)	
栄養教諭一種免許所得申請に必要な科目	教育心理学	選(2)	教育相談論	選(2)	栄養教育実習事前・事後指導【通】	選	栄養教育実習事前・事後指導【通】	選(1)		18 (選択18)	
					栄養教育実習【通】	選	栄養教育実習【通】	選(1)			
							教職実践演習	選(2)			
合計	1科目 (選択1科目)	2	1科目 (選択1科目)	2	2科目 (選択2科目)	0	3科目 (選択3科目)	4		18 (選択18)	

Ⅱ－7 栄養学科 履修モデル（全コース一覧）

科目区分		1年次		2年次			
		前期	後期	前期	後期		
専門科目	全コース共通	管理栄養士論	管理栄養士論				
		基礎栄養学		基礎栄養学	基礎栄養学実験		
		応用栄養学			応用栄養学Ⅰ	応用栄養学Ⅱ	
		栄養教育論			栄養教育論Ⅰ	栄養教育論Ⅱ	
		臨床栄養学				臨床栄養学Ⅰ	
		公衆栄養学					
		給食経営管理論			給食経営管理論Ⅰ	給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理論実習Ⅰ	
		総合演習					
		統合科目		地域連携ケア論Ⅰ	地域連携ケア論Ⅱ		
		臨地実習					
コース別選択	食育実践コース	栄養教育論	食育農場演習【通】	選 食育農場演習【通】	選 食育実践演習【通】	選 食育実践演習【通】	
		公衆栄養学					
		統合科目					
	スポーツ栄養コース	応用栄養学				スポーツ栄養学総論	選
		統合科目					
	臨床栄養コース	栄養教育論					
		臨床栄養学					
		統合科目					
		臨地実習					

専門基礎科目	全コース共通	社会・環境と健康	人間関係論 特別総合科目【通】	選	生涯発達論 特別総合科目【通】	選	生命倫理 医療概論 選 公衆衛生学	選	健康管理概論 選 公衆衛生学実習
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	形態機能学Ⅰ 有機化学	選	形態機能学Ⅱ 微生物学 微生物学実験 生化学Ⅰ	選	形態機能学実習Ⅰ 病理学 生化学Ⅱ 生化学実験	選	形態機能学実習Ⅱ 病態診療学Ⅰ
		食べ物と健康	食品科学Ⅰ 調理学 調理学実習Ⅰ		食品科学Ⅱ 食品科学実験Ⅰ 調理学実習Ⅱ		食品衛生学 食品衛生学実験		食品科学Ⅲ

基礎教育科目	全コース共通	学習と思考力	学びの理解 論理的思考 情報処理* 生物学 基礎化学	選	統計分析法 情報リテラシー*					
		言語と表現力	英語Ⅰ(基礎)* 表現技法Ⅰ(読解・分析)		英語Ⅱ(会話)* 表現技法Ⅱ(討議・発表)		英語Ⅲ(読解)	選	英語Ⅳ(総合)	選
		人間と社会	心理学 倫理学 生態学	選	スポーツ科学と運動* スポーツ理論* 地域社会文化論 法と人権*	選	社会貢献と活動 選 生活環境論 選 現代社会論 選	選	国際社会論 選 教育学 選 文学と人間	選 選 選

栄養教職課程	教職概論	選	教育原理 教育制度論	選	教育課程論 選 教育方法論 道徳教育論	選	特別活動・総合的学習指導論 選 生徒指導論 選 特別支援教育概論	選 選 選
--------	------	---	---------------	---	---------------------------	---	----------------------------------------	-------------

- 「線」は選択科目。【通】は通年科目。
- 選択科目のうち、「※」の給食経営管理論実習Ⅲと公衆栄養学実習Ⅱは選択必修科目である。
- 「*」科目は、栄養教諭一種免許取得申請に必要な科目にも該当

栄養学科 履修モデル（全コース一覧）

区分	3年次				4年次				
	前期		後期		前期		後期		
専門科目	全コース共通	管理栄養士論				管理栄養士総合演習【通】		管理栄養士総合演習【通】	
		基礎栄養学							
		応用栄養学	応用栄養学III		応用栄養学実習 免疫と栄養	選			
		栄養教育論	栄養教育論III 食生活論*	選	栄養教育論実習				
		臨床栄養学	臨床栄養学II 臨床栄養学実習I		臨床栄養学III 臨床栄養学実習II		臨床栄養学IV 臨床栄養学実習III		
		公衆栄養学	公衆栄養学I		公衆栄養学II 公衆栄養学実習I				
		給食経営管理論							
		総合演習	総合演習I				総合演習II		
		統合科目	地域連携ケア論III		英語文献講読演習	選			地域連携ケア論IV
		臨地実習	給食経営管理論実習II				給食経営管理論実習III【通】※ 公衆栄養学実習II【通】※ 臨床栄養学実習IV【通】	選	給食経営管理論実習III【通】※ 公衆栄養学実習II【通】※ 臨床栄養学実習IV【通】
		コース別選択	食育実践コース	栄養教育論		食育指導論*	選		
公衆栄養学						地域栄養活動演習	選		
統合科目						卒業研究【通】	選	卒業研究【通】	
コース別選択	スポーツ栄養コース	応用栄養学	スポーツ栄養学(基礎) スポーツ栄養学演習【通】	選	スポーツ栄養学(応用) スポーツ栄養学演習【通】	選			
		統合科目				卒業研究【通】	選	卒業研究【通】	
		臨地実習	栄養教育論 臨床栄養学	選				栄養サポートチーム論	
コース別選択	臨床栄養コース	統合科目	栄養カウンセリング演習	選			臨床栄養学実習V【通】	選	
		臨地実習				卒業研究【通】	選	卒業研究【通】	

管理栄養士受験資格・食品衛生監視員・食品衛生管理者の任用資格・栄養士免許

専門基礎科目	全コース共通	社会・環境と健康		保健医療福祉行政論			
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	病態診療学II				
		食べ物と健康	食品科学実験II		食品機能学	選	

基礎教育科目	全コース共通	学習と思考力					
		言語と表現力					
		人間と社会					

栄養教職課程	教育心理学	選	教育相談論	選	栄養教育実習事前・事後指導【通】	選	栄養教育実習事前・事後指導【通】	選
					栄養教育実習【通】	選	栄養教育実習【通】	選
							教職実践演習	選

栄養教諭

- 「線」は選択科目。【通】は通年科目。
- 選択科目のうち、「※」の給食経営管理論実習IIIと公衆栄養学実習IIは選択必修科目である。
- 「*」科目は、栄養教諭一種免許取得申請に必要な科目にも該当

Ⅱ－８ 栄養学科コース別履修モデル

食育実践コース（履修科目は一例です）

科目区分	1年次				2年次				
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	
基礎教育科目 基礎教育科目 全コース共通	学習と思考力	学びの理解	1	統計分析法	1				
		論理的思考	2	情報リテラシー	1 *				
		情報処理	1 *						
		生物学	選 (1)						
	基礎化学	2							
	言語と表現力	英語 I (基礎)	1 *	英語 II (会話)	1 *	英語 III (読解)	選 (1)		
表現技法 I (読解・分析)		1	表現技法 II (討議・発表)	1					
	人間と社会	心理学	2	地域社会文化論	選 (2)	社会貢献と活動	選 (1)	国際社会論	選 (1)
倫理学		1				生活環境論	選 (2)	教育学	選 (1)
		現代社会論				2			
小計 (内選択科目計)	9科目 (選択1科目)	12	5科目 (選択1科目)	6	4科目 (選択3科目)	6	2科目 (選択2科目)	2	
専門基礎科目 全コース共通	社会・環境と健康	人間関係論	1			公衆衛生学	2	健康管理概論	2
								公衆衛生学実習	1
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	形態機能学 I	2	形態機能学 II	2	形態機能学実習 I	1	形態機能学実習 II	1
		有機化学	選 (2)	微生物学	2	病理学	2	病態診療学 I	2
			微生物学実験	1	生化学 II	2			
			生化学 I	2	生化学実験	1			
食べ物と健康	食品科学 I	2	食品科学 II	2	食品衛生学	2	食品科学 III	選 (2)	
	調理学	2	食品科学実験 I	1	食品衛生学実験	1			
	調理学実習 I	1	調理学実習 II	1					
小計 (内選択科目計)	6科目 (選択1科目)	10	7科目	11	7科目	11	5科目 (選択1科目)	8	
専門教育 専門科目 全コース共通	管理栄養士論	管理栄養士論	1						
	基礎栄養学			基礎栄養学	2	基礎栄養学実験	1		
	応用栄養学					応用栄養学 I	2	応用栄養学 II	2
	栄養教育論					栄養教育論 I	2	栄養教育論 II	2
	臨床栄養学							臨床栄養学 I	2
	公衆栄養学								
	給食経営管理論					給食経営管理論 I	2	給食経営管理論 II	2
								給食経営管理論実習 I	1
	総合演習								
	統合科目			地域連携ケア論 I	1	地域連携ケア論 II	1		
食育実践コース	栄養教育論	食育農場演習【通】	選	食育農場演習【通】	選 (1)	食育実践演習【通】	選	食育実践演習【通】	選 (1)
	公衆栄養学								
	統合科目								
小計 (内選択科目計)	2科目 (選択1科目)	1	3科目 (選択1科目)	4	6科目 (選択1科目)	8	6科目 (選択1科目)	10	
合計	17科目 (選択3科目)	23	15科目 (選択2科目)	21	17科目 (選択4科目)	25	13科目 (選択4科目)	20	

- 「選」は選択科目。単位数の（数字）は選択科目、その他は必修科目である。
- 選択科目のうち、「※」の給食経営管理論実習Ⅲと公衆栄養学実習Ⅱは選択必修科目である。
- 【通】は通年科目。通年科目の単位数は該当年次の後期に単位数が記載されている（通年科目の前期の単位数には数字を記載していない）。
- 「※」科目は、栄養教諭一種免許取得申請に必要な科目にも該当。

食育実践コース 履修モデル

(127単位履修モデル)

区分	3年次				4年次				単位計 (内選択計)	卒業必要 単位数	
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位			
基礎教育 基礎教育科目	全コース共通	学習と思考力							9 (選択1)	必修 17 選択 9	
		言語と表現力							5 (選択2)		
		人間と社会							12 (選択7)		
	小計	0	0	0	0	0	0	26 (選択10)			
専門基礎科目	全コース共通	社会・環境と健康		保健医療福祉行政論	1				7	必修 40 選択 4	
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2						22 (選択2)		
		食べ物と健康	1						15 (選択2)		
	小計	2科目	3	1科目	1	0	0	44 (選択4)			
専門教育 専門科目	全コース共通	管理栄養士論				管理栄養士総合演習【通】		管理栄養士総合演習【通】	1	2	必修 49 選択 6
		基礎栄養学								3	
		応用栄養学	2	応用栄養学実習	1					7	
		栄養教育論	2	栄養教育論実習	1					7	
		臨床栄養学	2	臨床栄養学III	2	臨床栄養学IV	2			11	
		臨床栄養学	1	臨床栄養学実習II	1	臨床栄養学実習III	1			5	
		公衆栄養学	2	公衆栄養学II	2					5	
		公衆栄養学		公衆栄養学実習I	1					5	
		給食経営管理論								5	
		総合演習	1	総合演習I	1	総合演習II	1			2	
		統合科目	1	地域連携ケア論III				地域連携ケア論IV	1	4	
		臨地実習	1	給食経営管理論実習II			公衆栄養学実習II【通】 選 臨床栄養学実習IV【通】	※ 公衆栄養学実習II【通】 選 臨床栄養学実習IV【通】	(1) ※ 2	4 (選択1)	
	食育実践コース	栄養教育論		食育指導論	選(2)*					7	
公衆栄養学					地域栄養活動演習	(1)			7		
統合科目					卒業研究【通】	選	卒業研究【通】	選(2)	(選択7)		
小計 (内選択科目計)	8科目	12	7科目 (選択1科目)	10	8科目 (選択3科目)	5	5科目 (選択2科目)	7	57 (選択8)	必修 1	
合計	10科目	15	8科目 (選択1科目)	11	8科目 (選択3科目)	5	5科目 (選択2科目)	7	127 (選択22)	合計 126以上	

スポーツ栄養コース（履修科目は一例です）

科目区分			1年次				2年次			
			前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位
基礎教育 科目	全 コ ー ス 共 通	学習と思考力	学びの理解 論理的思考 情報処理 基礎化学	1 2 1 * 2	統計分析法 情報リテラシー	1 1 *				
		言語と表現力	英語 I (基礎) 表現技法 I (読解・分析)	1 * 1	英語 II (会話) 表現技法 II (討議・発表)	1 * 1	英語 III (読解) 選	(1)	英語 IV (総合) 選	(1)
		人間と社会	心理学 倫理学	2 1	スポーツ科学と運動 スポーツ理論 法と人権	選 (1) * 選 (1) * 選 (2) *	社会貢献と活動 選	(1)	国際社会論 教育学 選	(1) (1)
	小計 (内選択科目計)	8科目	11	7科目 (選択3科目)	8	3科目 (選択2科目)	4	3科目 (選択3科目)	3	
専門基礎 科目	全 コ ー ス 共 通	社会・環境 と健康	人間関係論	1			公衆衛生学 2	健康管理概論 公衆衛生学実習 1	2 1	
		人体の構造と 機能及び疾病の 成り立ち	形態機能学 I 有機化学 選	2 (2)	形態機能学 II 微生物学 微生物学実験 生化学 I	2 2 1 2	形態機能学実習 I 病理学 生化学 II 生化学実験 1	1 2 2 1	形態機能学実習 II 病態診療学 I 2	1 2
		食べ物と健康	食品科学 I 調理学 調理学実習 I	2 2 1	食品科学 II 食品科学実験 I 調理学実習 II	2 1 1	食品衛生学 食品衛生学実験 1	2 1		
	小計 (内選択科目計)	6科目 (選択1科目)	10	7科目	11	7科目	11	4科目	6	
専門教育 科目	全 コ ー ス 共 通	管理栄養士論	管理栄養士論	1						
		基礎栄養学			基礎栄養学 2	基礎栄養学実験 1				
		応用栄養学				応用栄養学 I 2	応用栄養学 II 2			
		栄養教育論				栄養教育論 I 2	栄養教育論 II 2			
		臨床栄養学					臨床栄養学 I 2			
		公衆栄養学								
		給食経営管理論				給食経営管理論 I 2	給食経営管理論 II 給食経営管理論実習 I 1	2 1		
		総合演習								
		統合科目			地域連携ケア論 I 1	地域連携ケア論 II 1				
	臨地実習									
スポーツ 栄養 コース	応用栄養学					スポーツ栄養学総論 選	(1)			
統合科目										
小計 (内選択科目計)	1科目	1	2科目	3	5科目	8	6科目 (選択1科目)	10		
合計	15科目 (選択1科目)	22	16科目 (選択3科目)	22	15科目 (選択2科目)	23	13科目 (選択4科目)	19		

- 「選」は選択科目。単位数の（数字）は選択科目、その他は必修科目である。
- 選択科目のうち、「※」の給食経営管理論実習IIIと公衆栄養学実習IIは選択必修科目である。
- 【通】は通年科目。通年科目の単位数は該当年次の後期に単位数が記載されている（通年科目の前期の単位数には数字を記載していない）。
- 「*」科目は、栄養教諭一種免許取得申請に必要な科目にも該当。

スポーツ栄養コース 履修モデル

(126単位履修モデル)

区 分		3年次				4年次				単位計 (内選択計)	卒業必要 単位数	
		前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位			
基礎教育科目	全コース共通	学習と思考力								8	必修 17 選択 9	
		言語と表現力								6 (選択2)		
		人間と社会								12 (選択7)		
	小 計		0		0		0		0	26 (選択9)		
専門基礎科目	全コース共通	社会・環境と健康		保健医療福祉行政論	1					7	必修 40 選択 4	
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2	病態診療学Ⅱ						22 (選択2)		
		食べ物と健康	1	食品科学実験Ⅱ		食品機能学	選(2)			15 (選択2)		
	小 計	2科目	3	1科目	1	1科目 (選択1科目)	2		0	44 (選択4)		
専門教育 専門科目	全コース共通	管理栄養士論				管理栄養士総合演習【通】		管理栄養士総合演習【通】	1	2	必修 49 選択 6 合計 126以上	
		基礎栄養学								3		
		応用栄養学	2	応用栄養学Ⅲ	1	応用栄養学実習						7
		栄養教育論	2	栄養教育論Ⅲ	1	栄養教育論実習						7
		臨床栄養学	2 1	臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ	2 1	臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学実習Ⅱ	2 1	臨床栄養学Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅲ	2 1			11
		公衆栄養学	2	公衆栄養学Ⅰ	2	公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習Ⅰ	2 1					5
		給食経営管理論										5
		総合演習	1	総合演習Ⅰ			総合演習Ⅱ	1				2
		統合科目	1	地域連携ケア論Ⅲ					地域連携ケア論Ⅳ	1		4
		臨地実習	1	給食経営管理論実習Ⅱ			公衆栄養学実習Ⅱ【通】 臨床栄養学実習Ⅳ【通】	選 選	※公衆栄養学実習Ⅱ【通】 臨床栄養学実習Ⅳ【通】	選 選		(1)※ 2 (選択1)
		スポーツ栄養コース	2	スポーツ栄養学(基礎) スポーツ栄養学演習【通】	選(1) 選	スポーツ栄養学(応用) スポーツ栄養学演習【通】	選(1) 選(1)					6 (選択6)
		小 計 (内選択科目計)	10科目 (選択2科目)	13	8科目 (選択2科目)	10	7科目 (選択2科目)	4	5科目 (選択2科目)	7		56 (選択7)
合 計	12科目 (選択2科目)	16	9科目 (選択2科目)	11	8科目 (選択3科目)	6	5科目 (選択2科目)	7	126 (選択20)			

臨床栄養コース（履修科目は一例です）

科目区分			1年次				2年次					
			前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位		
基礎教育 基礎教育科目	全コース共通	学習と思考力	学びの理解 論理的思考 情報処理 基礎化学	1 2 1 * 2		統計分析法 情報リテラシー	1 1 *					
		言語と表現力	英語Ⅰ(基礎) 表現技法Ⅰ(読解・分析)	1 * 1		英語Ⅱ(会話) 表現技法Ⅱ(討議・発表)	1 * 1		英語Ⅲ(読解)	選(1)	英語Ⅳ(総合)	選(1)
		人間と社会	心理学 倫理学 生態学	2 1 選(1)		法と人権	選(2) *		生活環境論 現代社会論	選(2) 2	国際社会論 文学と人間	選(1) 選(1)
	小計 (内選択科目計)	9科目 (選択1科目)	12	5科目 (選択1科目)	6	3科目 (選択2科目)	5	3科目 (選択3科目)	3			
専門基礎科目	全コース共通	社会・環境と健康	人間関係論	1	生涯発達論	選(1)	生命倫理 医療概論 公衆衛生学	選(1) 選(2) 2	健康管理概論 公衆衛生学実習	2 1		
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	形態機能学Ⅰ	2	形態機能学Ⅱ 微生物学 微生物学実験 生化学Ⅰ	2 2 1 2	形態機能学実習Ⅰ 病理学 生化学Ⅱ 生化学実験	1 2 2 1	形態機能学実習Ⅱ 病態診療学Ⅰ	1 2		
		食べ物と健康	食品科学Ⅰ 調理学 調理学実習Ⅰ	2 2 1	食品科学Ⅱ 食品科学実験Ⅰ 調理学実習Ⅱ	2 1 1	食品衛生学 食品衛生学実験	2 1				
	小計 (内選択科目計)	5科目	8	8科目 (選択1科目)	12	9科目 (選択2科目)	14	4科目	6			
専門教育 専門科目	全コース共通	管理栄養士論	管理栄養士論	1								
		基礎栄養学			基礎栄養学	2	基礎栄養学実験	1				
		応用栄養学					応用栄養学Ⅰ	2	応用栄養学Ⅱ	2		
		栄養教育論					栄養教育論Ⅰ	2	栄養教育論Ⅱ	2		
		臨床栄養学							臨床栄養学Ⅰ	2		
		公衆栄養学										
		給食経営管理論					給食経営管理論Ⅰ	2	給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理論実習Ⅰ	2 1		
		総合演習										
		統合科目			地域連携ケア論Ⅰ	1	地域連携ケア論Ⅱ	1				
		臨地実習										
	臨床栄養コース	栄養教育論										
臨床栄養学												
統合科目												
臨地実習												
小計 (内選択科目計)	1科目	1	2科目	3	5科目	8	5科目 (選択1科目)	9				
合計	15科目 (選択1科目)	21	15科目 (選択2科目)	21	17科目 (選択4科目)	27	12科目 (選択3科目)	18				

- 「選」は選択科目。単位数の（数字）は選択科目、その他は必修科目である。
- 選択科目のうち、「※」の給食経営管理論実習Ⅲと公衆栄養学実習Ⅱは選択必修科目である。
- 【通】は通年科目。通年科目の単位数は該当年次の後期に単位数が記載されている（通年科目の前期の単位数には数字を記載していない）。
- 「*」科目は、栄養教諭一種免許取得申請に必要な科目にも該当。

臨床栄養コース 履修モデル

(127単位履修モデル)

区 分			3年次				4年次				単位計 (内選択計)	卒業必要 単位数	
			前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位			
基礎教育	基礎教育科目	全コース共通	学習と思考力								8	必修 17 選択 9	
			言語と表現力								6 (選択2)		
			人間と社会								12 (選択7)		
	小 計		0		0		0		0	26 (選択9)			
専門基礎教育	全コース共通	社会・環境と健康			保健医療福祉行政論	1					11 (選択4)	必修 40 選択 4	
			人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	2							20		
			食べ物と健康	1							13		
	小 計	2科目	3	1科目	1		0		0	44 (選択4)			
専門科目	全コース共通	管理栄養士論					管理栄養士総合演習【通】		管理栄養士総合演習【通】	1	2	必修 49 選択 6	
		基礎栄養学									3		
		応用栄養学	2	応用栄養学実習 免疫と栄養	1 選(1)						8 (選択1)		
		栄養教育論	2	栄養教育論実習	1						7		
		臨床栄養学	2 1	臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ	2 1	臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学実習Ⅱ	2 1	臨床栄養学Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅲ	2 1		11		
		公衆栄養学	2	公衆栄養学Ⅰ	2	公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習Ⅰ	2 1				5		
		給食経営管理論									5		
		総合演習	1	総合演習Ⅰ	1		総合演習Ⅱ	1			2		
		統合科目	1	地域連携ケア論Ⅲ	1				地域連携ケア論Ⅳ	1	4		
		臨地実習	1	給食経営管理論実習Ⅱ	1			給食経営管理論実習Ⅲ【通】 選 臨床栄養学実習Ⅳ【通】 選	※給食経営管理論実習Ⅲ【通】 選 臨床栄養学実習Ⅳ【通】 選	(1) ※ 2	4 (選択1)		
		臨床栄養コース	1	栄養教育論 栄養カウンセリング演習 選(1)	1								
				臨床栄養学					栄養サポートチーム論 選(1)				
				統合科目				卒業研究【通】 選	卒業研究【通】 選(2)				6 (選択6)
				臨地実習				臨床栄養学実習Ⅴ【通】 選	臨床栄養学実習Ⅴ【通】 選(2)				
小 計 (内選択科目計)		9科目 (選択1科目)	13	7科目 (選択1科目)	9	8科目 (選択3科目)	4	7科目 (選択4科目)	10	57 (選択8)	必修選択 1		
合 計		11科目 (選択1科目)	16	8科目 (選択1科目)	10	8科目 (選択3科目)	4	7科目 (選択4科目)	10	127 (選択21)	合計 126以上		

Ⅱ-9 オフィスアワー

栄養学科

教員が特定の曜日・時間を定め、学生からの授業や学生生活全般に関する質問、相談に応じるシステムです。

面接を希望する学生は、各教員の実施方法を確認のうえ、面談希望教員と連絡を取り面談日を調整してください。

未決定の教員は、決定後、掲示にてお知らせします。

時間帯 (①②方式)

① 1週間のうち、一定期間を教員の個々のスケジュールにより決定しています。

② 特に時間を設定していません。

面談方式 (ab方式)

a オープン方式：学生は自由に教員を訪問することができます。

b アポイント方式：学生が各教員とアポイントを取ったうえで訪問することができます。

(メールアドレスを参考にしてください。)

分野	職位	氏名	曜日	時間帯	面談方式	メールアドレス	研究室
専門基礎分野	教授 (学長)	コバヤシ セイイチ 小林 清一	月～金	②	b	koba @sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp	1213 学長室 4101
		マツオ フミコ 松尾 文子	月～金	②	b	fmatsuo @sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp	1221
基礎教育分野	教授 (図書館長)	スエミツ アツオ 末光 厚夫	月～金	②	a	sue @sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp	1314
	教授	ハマオカ ナオヒロ 濱岡 直裕	月～金	②	b	hamaoka @sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp	5308
社会・環境と健康	教授	チバ ヒトシ 千葉 仁志	月～金	②	b	chiba-h @sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp	5302
	准教授	キンタカ ユリ 金高 有里	月～金	②	b	kintaka @sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp	5307
	講師	ツクイ タカユキ 津久井 隆行	月～金	②	b	tsukui @sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp	5103
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	教授	アラカワ ヨシヒト 荒川 義人	月～金	②	a	arakawa @sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp	5303
	教授	サカモト メグミ 坂本 恵	月～金	②	a	sakamoto @sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp	5105
食べ物と健康	教授 (学部長)	マツカワ ノリコ 松川 典子	月～金	②	a	matsukawa @sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp	5310
基礎栄養学	准教授	チバ マサキ 千葉 昌樹	月～金	②	a	machi @sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp	5309
応用栄養学	教授	モモセ イヅミ 百々瀬 いづみ	月～金	②	a	momose @sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp	5311
栄養教育論	教授						

オフィスアワー

分野	職位	氏名	曜日	時間帯	面談方式	メールアドレス	研究室
臨床栄養学	教授	クボ チヅル 久保 ちづる	月～金	②	a	c-kubo @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5305
	教授	オカモト トモコ 岡本 智子	月～金	②	b	okamoto @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5306
公衆栄養学	講師	ツチモト コウジ 槌本 浩司	月～金	②	b	tsutimoto @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5106
給食経営 管理論	教授 (栄養学科長)	ヤマベ シュウコ 山部 秀子	月～金	②	a	yamabe @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5107
	講師	ワタナベ イツミ 渡辺 いつみ	月～金	②	a	wtanabe @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5104
教職課程	教授	トコロ シンイチ 所 伸一	月～水、 金	②	a	tokoro @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5312
	教授	コジマ ヤスジ 小島 康次	月～金	②	b	ykojima @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5304
	助教	イワベ マイコ 岩部 万衣子	月～金	②	a	iwabe @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5102 研究室
	助教	アビコ ヒロミ 安彦 裕実	月～金	②	a	abiko @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5101 共同 研究室
	助教	ムラオ サト 村尾 咲音	月～金	②	a	muraio @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5101 共同 研究室
	助手	ヒダ マユミ 樋田 真弓	月～金	②	a	abe-m @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5102 研究室
	助手	ヨネタ ミオ 米田 美央	月～金	②	a	yoneta @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5102 研究室
	助手	オオヤマ タツヤ 大山 達也	月～金	9:00 ～18:00	a	oyama @sapporo-hokeniryou-u.ac.jp	5101 共同 研究室

※助教 岩部万衣子は、2021年9月30日まで休業のため不在となります。

Ⅱ-10 2021年度学事暦

日	行事内容							全学行事				
	栄養学科 1年次	栄養学科 2年次	栄養学科 3年次 (編入3年次含む)	栄養学科 4年次 (編入4年次含む)								
4月	4	5	6	7	8	9	10	4/5~9 新入生ガイダンス	4/1 前期ガイダンス 4/1 前期授業開始	4/1 前期ガイダンス 4/1 前期授業開始	4/1 前期ガイダンス 4/1 前期授業開始	4/3 入学式
	11	12	13	14	15	16	17	4/12 健康診断	4/13 健康診断	4/12 健康診断	4/13 健康診断	
	18	19	20	21	22	23	24	4/12 前期授業開始				
	25	26	27	28	29	30						
							1					5/1 創立記念日
5月	2	3	4	5	6	7	8				5/17~21 栄養教育実習	5/14 体育大会
	9	10	11	12	13	14	15					
	16	17	18	19	20	21	22					
	23	24	25	26	27	28	29					
	30	31										
6月			1	2	3	4	5			6/14~18 臨地実習		
	6	7	8	9	10	11	12					
	13	14	15	16	17	18	19					
	20	21	22	23	24	25	26					
	27	28	29	30								
7月					1	2	3		7/21 前期授業終了 7/27~30 前期定期試験	7/30 前期授業終了		
	4	5	6	7	8	9	10					
	11	12	13	14	15	16	17					
	18	19	20	21	22	23	24					
	25	26	27	28	29	30	31					
8月	1	2	3	4	5	6	7	8/6 前期授業終了	8/5~6 前期追試験	8/3~6 前期定期試験	8/2~10/29 臨地実習	
	8	9	10	11	12	13	14	8/10~13 前期定期試験	8/10~12 前期再試験	8/12~13 前期追試験		
	15	16	17	18	19	20	21	8/19~20 前期追試験	8/30~9/29 夏期休業	8/16~18 前期再試験		
	22	23	24	25	26	27	28	8/23~25 前期再試験		※定期試験：編入生のみ別途掲示		
	29	30	31					8/30~9/29 夏期休業		8/23~9/29 夏期休業		
9月					1	2	3	9/30 後期ガイダンス	9/30 後期ガイダンス	9/30 後期ガイダンス		9/25 前期学位授与式
	5	6	7	8	9	10	11					
	12	13	14	15	16	17	18					
	19	20	21	22	23	24	25					
	26	27	28	29	30							
10月						1	2	10/1 後期授業開始	10/1 後期授業開始	10/1 後期授業開始		10/9 大学祭準備 10/10~11 大学祭
	3	4	5	6	7	8	9					
	10	11	12	13	14	15	16					
	17	18	19	20	21	22	23					
	24	25	26	27	28	29	30					
11月												
	7	8	9	10	11	12	13	11/6 グローバルセミナー	11/6 (編入生のみ) グローバルセミナー	11/1 後期ガイダンス 11/1 後期授業開始	11/6 グローバルセミナー	
	14	15	16	17	18	19	20					
	21	22	23	24	25	26	27					
	28	29	30									
12月				1	2	3	4	12/27~1/7 冬期休業	12/27~1/7 冬期休業	12/27~1/7 冬期休業	12/27~1/7 冬期休業	
	5	6	7	8	9	10	11					
	12	13	14	15	16	17	18					
	19	20	21	22	23	24	25					
	26	27	28	29	30	31						
1月							1				1/11~12 後期定期試験 1/17 後期追再試験	
	2	3	4	5	6	7	8					
	9	10	11	12	13	14	15					
	16	17	18	19	20	21	22					
	23	24	25	26	27	28	29					
2月	30	31										
	6	7	8	9	10	11	12	2/7~10 後期定期試験 2/17~18 後期追試験	2/7~10 後期定期試験 2/17~18 後期追試験	2/7~10 後期定期試験 2/17~18 後期追試験		2/4 入学試験
	13	14	15	16	17	18	19	2/21~22,24 後期再試験	2/21~22,24 後期再試験	2/21~22,24 後期再試験		
	20	21	22	23	24	25	26	2/25~3/31 春期休業	2/25~3/31 春期休業	2/25~3/31 春期休業		
	27	28										
3月			1	2	3	4	5				3/8 学位記授与式	3/4 入学試験 3/8 学位記授与式
	6	7	8	9	10	11	12					
	13	14	15	16	17	18	19					
	20	21	22	23	24	25	26					
	27	28	29	30	31							

この他に全学行事として避難訓練